

「いじめ未然防止モデルプログラム校内研修パッケージ」及び「いじめの未然防止に関わる『知っておきたい基礎知識集』」の作成について

「いじめの未然防止に関する研究」 研究班

1 作成の目的

北海道教育委員会では、平成26年度から3か年事業として、「いじめ未然防止モデルプログラム事業」を実施している。本事業は、各学校において、いじめの未然防止に向け、予防的な生徒指導の考え方に立った取組を継続的に推進することができるよう、「居場所づくり」、「絆づくり」、「環境づくり」の3つの観点に着目した「いじめ未然防止モデルプログラム」の作成・普及を目的としている。当研究所では、本モデルプログラムの作成・普及に、「いじめの未然防止に関する研究」として関わってきた。

平成26年度は、指定校の取組を参考に、いじめの未然防止のモデルとなる「活動例のマトリクス」、「活動例」及び「年間の取組計画例」を学校種別に取りまとめ、「平成27年3月版」として作成した。平成27年度は、指定校それぞれの実践を、「活動のマトリクス」、「年間の取組計画」及び「主な活動（概要）」として取りまとめ、「平成28年3月版」を作成した。

平成28年度以降は、本モデルプログラムの普及により、全ての学校において、いじめの未然防止の取組の充実が求められる。

そのため、全ての学校においては、校内研修等を通して、いじめの未然防止の取組について、全教職員の共通理解を図る必要がある。

そこで、当研究所では、各学校において、独自にいじめ未然防止プログラムをまとめることができるよう、「いじめ未然防止モデルプログラム校内研修パッケージ」を作成した。

また、「いじめ未然防止モデルプログラム」には、教育相談に関する専門性の高い用語が多く使用されていることから、各学校において、いじめの未然防止の取組の充実を図る際に参考とできるよう、「いじめの未然防止に関わる『知っておきたい基礎知識集』」を作成した。

2 「いじめ未然防止モデルプログラム校内研修パッケージ」について

(1) 内容

- ア 研修を担当される先生へ
(本パッケージの解説書)
- イ 「いじめの未然防止について」～いじめ未然防止モデルプログラムの活用～進行表
- ウ 「いじめの未然防止について」～いじめ未然防止モデルプログラムの活用

～（プレゼンテーション資料）

エ 活動のマトリクス（演習シート）

(2) 工夫した点

本パッケージのひな形を活用し、当研究所の所員が講師となって、当研究所での研修講座、各教育局や市町村教育委員会等での研修会において講義・演習を行った。本パッケージは、受講者の意見を基に、改善を図ったものである。

ア 各学校の実態に応じて研修を設定できるように、60分研修用と、30分2回研修用の2種類から選択できるようにしたこと

イ 研修担当者が研修を円滑に進めることができるよう、解説書「研修を担当される先生へ」を作成するとともに、解説書の中にQ&Aを入れたこと

ウ プレゼンテーション資料に説明原稿を入れたこと

3 「いじめの未然防止に関わる『知っておきたい基礎知識集』」について

(1) 内容

「自己有用感」や「ピア・サポート活動」など10の用語解説と、『絆づくり』と『居場所づくり』や「いじめの未然防止に関わる取組」など6つのコラムから構成されている。

(2) 工夫した点

用語の定義のみを記す、いわゆる「用語集」ではなく、用語の意味する事柄が、いじめの未然防止に向けた取組にどのように関わるか、学校の教育活動との関連が明確になるようにしている。

4 活用の周知

- ・当研究所Webページへの掲載
- ・当研究所の「生徒指導」に関する研修講座において紹介
- ・管内研修センター等連携研修講座（ミニ道研）の「いじめの未然防止」に関する講義において紹介

5 今後に向けて

「いじめ未然防止モデルプログラム校内研修パッケージ」については、活用した学校の担当者用のアンケート用紙をWebページに掲載して、アンケートの回答をメール等で集約し、集計、分析を行い、改善・充実を図ることとしている。